

都市共生デザイン専攻アーバンデザイン学コースカリキュラム・マップ

凡例	科目区分	必修科目	選択科目	学府共通科目	研究指導	博士課程専攻科目
再掲は薄色で表示		必修科目	選択科目	学府共通科目	研究指導	博士課程専攻科目

学修目標		修士1年				修士2年				博士1-3年					
区分	修士課程	博士課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	D1	D2	D3		
D 実践	地域社会、国際社会が要請する新たな都市を、高い教養と見識に基づいて自ら構想・創造するとともに、アーバンデザイン学の視点からの社会貢献とアーバンデザイン学の発展へ自ら寄与しようとする意欲を持つ。	実社会における問題の本質の精査、その解決方法の提示、実行を通して、都市共生デザイン学の成果を社会に還元するとともに国際的視野の拡大に努め、フィールド活動に対する実践的意欲を持つ。			アメニティ心理学演習	特別研究					修士論文	博士論文指導演習		博士論文	
	アーバンデザインに携わる専門家としての自覚と誇りを持ち、専門家に求められる倫理観を身につける。	建築設計・都市設計、災害管理技術、環境心理、実践発達心理における高度な専門家としての自覚を持って高い倫理観を身につける。	都市建築学コロキウム		海外都市計画特論				アメニティ心理学演習				博士論文指導演習		
	専門知識・技術を活用し、都市に関わる分析・企画から計画・デザインまで纏め上げることができる。					都市建築学コロキウム			海外都市計画特論						
C-2 評価・創造	アーバンデザインに関する専門的知識と技能に基づき研究を遂行する能力、ならびに実社会において問題の中身を良く吟味し、それを解決するための方法を提示・実行することができる。	修得した都市共生デザイン学に関する専門的能力を自身の研究遂行に生かし、自立した研究者として専門分野の発展に寄与できる。	建築インターンシップ			特別研究					博士論文指導演習				
	建築・都市・社会システムを俯瞰的に捉え、構成要素間の相互作用を考慮しながら、バランス感覚を持って課題を解決することができる。		都市建築学コロキウム			建築インターンシップ					居住文化論講究	地域再生デザイン学講究	コミュニティ心理学講究		
	アーバンデザインに関わる課題を自ら発見し、客観的な分析と独自の構想を通じてその解決を提案できる。		アーバンデザインセミナー			都市建築学コロキウム					公共空間計画学講究	ハビタット工学講究	実践発達心理学講究		
	将来あるべき都市を構想し、持続型社会を構築する能力を身につける。					アーバンデザインセミナー					都市計画学講究	都市設計学講究	都市環境リスク学講究		
C-1 適用・分析	人間と科学・社会との関わりの問題を理解する能力を身につけ、新たな課題発見につなげることができる。	都市共生デザイン学に関わる課題を自ら発見し、その問題点を明確し整理でき	建築インターンシップ			特別研究					博士論文指導演習				
	専門分野の深い理解に基づき、学問固有の方法で思考できる。	都市共生デザイン学を包括する自然科学と工学及び人文・社会科学に関する専門分野の深い理解に基づき、学問固有の方法で思考できる。			都市共生デザインセミナー	建築インターンシップ					居住文化論講究	地域再生デザイン学講究	コミュニティ心理学講究		
	自然科学及び人文・社会科学の方法に基づいて論理的に思考できる。		都市建築学コロキウム		アメニティ心理学演習				都市共生デザインセミナー		公共空間計画学講究	ハビタット工学講究	実践発達心理学講究		
			持続都市計画学特論		コミュニティ心理学特論Ⅰ	都市建築学コロキウム	アメニティ心理学演習				都市計画学講究	都市設計学講究	都市環境リスク学講究		
			居住文化論特論		都市設計学特論	持続都市計画学特論			コミュニティ心理学特論Ⅰ		災害情報管理学講究				
			人間環境学		学際連携研究法	居住文化論特論	都市設計学特論		学際研究論						
						人間環境学	学際連携研究法								
											博士論文指導演習				
											学際研究論（博士）				
											学際連携研究法（博士）				
B. 知識・理解	人・建築・都市・地域・地球の関係を多角的に理解し、都市を持続的に保全・管理する方法について説明できる。	都市共生デザイン学に関する専門的能力のうち、自らが専攻し研究を遂行する分野に関する高度な専門的能力を、統合的に発揮することができる。			都市共生デザインセミナー	特別研究					博士論文指導演習				
	人間生活・活動の環境への影響を考慮した持続型都市及び生活環境を設計する方法について理解し、説明できる。		アーバンデザインセミナー		アメニティ心理学演習				都市共生デザインセミナー		居住文化論講究	地域再生デザイン学講究	コミュニティ心理学講究		
			居住文化論特論		コミュニティ心理学特論Ⅰ	アーバンデザインセミナー	アメニティ心理学演習				公共空間計画学講究	ハビタット工学講究	実践発達心理学講究		
						居住文化論特論			コミュニティ心理学特論Ⅰ		都市計画学講究	都市設計学講究	都市環境リスク学講究		
										災害情報管理学講究					
											博士論文指導演習				
											居住文化論講究	地域再生デザイン学講究	コミュニティ心理学講究		
											公共空間計画学講究	ハビタット工学講究	実践発達心理学講究		
											都市計画学講究	都市設計学講究	都市環境リスク学講究		
											災害情報管理学講究				

		人間と科学・社会の相互関係に関する問題について深く理解し、説明できる。		都市設計学特論 景観設計学特論 海外都市計画特論		都市共生デザインセミナー 都市設計学特論 景観設計学特論 海外都市計画特論		博士論文指導演習 学際研究論（博士） 学際連携研究法（博士） 居住文化論講究 地域再生デザイン学講究 コミュニティ心理学講究 公共空間計画学講究 ハビタット工学講究 実践発達心理学講究 都市計画学講究 都市設計学講究 都市環境リスク学講究 災害情報管理学講究 博士論文指導演習							
	都市の歴史・文化・生活・社会に関連する幅広い知識について理解し、説明できる。		生涯発達心理学特論 居住文化論特論	コミュニティ心理学特論II 海外都市計画特論	特別研究 生涯発達心理学特論 コミュニティ心理学特論II										
A. 主体的な学び・協働	表現能力とコミュニケーション能力を鍛え、広く世界と交流する視点を養う。	表現能力（自分の意見を明瞭に述べる能力、プレゼンテーション力）とコミュニケーション能力（討論能力、他分野を理解する能力、語学）を高め、広く世界と交流する視点を養う。	建築インターンシップ 都市建築学コロキウム 生涯発達心理学特論 持続都市計画学特論 人間環境学		特別研究 建築インターンシップ 都市建築学コロキウム 生涯発達心理学特論 持続都市計画学特論 人間環境学			博士論文指導演習							
	他者との協力を進めながら問題解決へ努力する協調性と、チームを統括するリーダーシップを備える。	他者との協力を進めながら問題解決へ努力する協調性と、チームを統括するリーダーシップを備える。	建築インターンシップ 都市建築学コロキウム アーバンデザインセミナー 人間環境学	都市共生デザインセミナー	特別研究 建築インターンシップ 都市建築学コロキウム アーバンデザインセミナー 人間環境学	都市共生デザインセミナー		博士論文指導演習							
	自ら課題に取り組む積極性と継続的に自己研鑽を続ける能力を備える。	自ら進んで課題に取り組む積極性と自分のポテンシャルを高める新たな知識・技術に対する進取性を有する。	都市建築学コロキウム 人間環境学	都市共生デザインセミナー 学際研究論 学際連携研究法	特別研究 都市建築学コロキウム 人間環境学	都市共生デザインセミナー 学際研究論 学際連携研究法		博士論文指導演習 学際研究論（博士） 学際連携研究法（博士）							
	区分	修士課程	博士課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	D1	D2	D3	
	学修目標	修士1年							修士2年				博士1-3年		
	アセスメント・プラン	修士論文の内容、各授業の成績評価、および各授業の最後に行われる受講生へのアンケート調査に基づいて、学修目標の達成度を総合的に評価する							博士論文の内容、各授業の成績評価に基づいて、学修目標の達成度を総合的に評価する。						